

鉄道・軌道業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	リフト降り場上部板台において雪降ろし作業をしている時、リフト稼動中に、右雪を蹴って落とそうとし、ロープとの間に右足を挟まれた。	61	—
1	11~12	地下鉄車両の連結部棧板のヒンジのシム調整作業中、わりピンを抜くため、わりピン下部に位置していた穴にピン抜きを刺し、ハンマーでピン抜きを叩いていた際、ピン抜きが跳ね返り、左人差し指先をピン抜きと棧板の受金に挟まれた。	64	100~299
1	8~9	下りホーム7号車付近に立哨中、7号車扉に傘の柄が挟まったので、被災職員が車掌に開扉合図を行った。その時傘の柄が挟まっていることから扉と扉の間に手の入る程度の間隙ができていた。同職員が列車の外から車内に傘の柄を入れようと、挟まっている傘の上付近に両手を入れこじ開けようとしたとき扉が開き、押し込んでいた両手親指が扉の開く勢いととも右手を引っ張られて、右側戸袋の真ん中辺りに右手薬指を挟んで負傷した。発生の原因として、閉まっている扉をこじ開け傘を車内に入れようとしたこと、車掌に開扉合図を送ったが開扉するのを待たなかったことが考えられる。	53	100~299
1	18~19	車掌は普通電車乗務中、発車の際に電車のドアを閉とし、出発合図を送った後、乗務員室のドアを閉めた際、乗務員室ドアと車体の間に左手親指が挟まった。	28	100~299
2	19~20	到着後折返し新運転台へ向かう際、座席転換しながら車内を通り中間運転台から降車時出入り戸を閉める際、無意識に乗務員室ドアの端を持ち閉めたため右手中指を切創した。	39	100~299
		列車運転士（本人）は、入区後、機関停止の為、制御元スイッチを「切」とする目		10

4	21～ 22	的で2端運転台から1端運転台右へ移動した。左手を機械室扉の根元部分に手を添えた状態のまま、半開きになっていた機械室扉のノブを右手で引き寄せ閉めようとしたところ、左手親指を扉根元部分に挟んで受傷した。	57 ～ 29
7	19～20	B1844列車を担当し駅3RT到着後駅取り扱い手順を終え、乗務員室を閉めるため落とし窓から右手を差し入れ側開き手の左側を持って開扉したところ、右手薬指を挟み出血、骨折していた。	40 ～ 299
7	10～ 11	1番線（下りホーム）で、電動車イスご利用のお客様を列車に乗車させるため、被災者が乗降用スロープを装着していた。付き添いの女性が装着途中のスロープの上に乗ってしまい、左手首と右四指をスロープとホームの間に挟まれ負傷した。	19 ～ 299
9	15～ 16	車庫線にて被災者2名で、それぞれがレール山越器を使用し、レールを吊り上げようとした際、吊り上げるレールベース部の隣に配置していたレールのベースが重なっていて、その事に気付かないまま被災者2名で山越器の巻き上げを行った時、隣のレールが転倒し、転倒したレールと碎石道床に右足甲が挟まれ負傷した。	50 ～ 49 99
12	18～19	当日は強風により昼前頃から運休となり、午後に駅従業員・宿直者を入れ替えるため、運転準備を進め試運転を行おうとしたところ、駅舎内に強風で雪が吹き込み、押送装置のベルト、プーリーが凍結しスリップして搬器が出発できない状態になり、駅勤務者にて解氷作業を開始した。解氷作業終了後、微速にて試運転を行い各所点検確認作業を開始した。点検確認作業中、加速押送外側駆動ベルトに着氷を発見しウエスで拭き取ろうとしたとき、ベルトとプーリー部に巻き込まれ、右手人差し指を切断した。直ちに救急車の手配をし、病院に搬送された。	50 ～ 41 99
12	17～18	2号ホームのエレベーターにて電動車椅子のお客様を介助中、エレベーターのドアを押さえながら後向きで降りてくるお客様を待っているとき、車椅子左横に掛けてあった荷物がエレベーターに引っ掛かった。降車する妨げになると感じたため、荷物をよけようと左手を添えた。その際、左手小指がエレベーターと車椅子の間に挟まり、左手小指の第二関節付近が切れて出血した。	100 ～ 24 299
12	19～20	被災者は、駅務室内で精算機の売上金を金庫へ納金する業務を行っていた。金庫内に現金を入れたあと、金庫の扉を右手で閉めた。金庫の扉を閉めた際、金庫のふちに添えていた左手人差し指を金庫の扉で挟み負傷した。多量の出血があり、	50 ～ 30

		負傷箇所は黒ずんで腫れていた。		99
12	16~17	工場内で、台車分解作業に従事していた。バネゴロシという部品を取り除いたあと、台車に載っている重り（5t）をクレーンで吊り上げる作業中、被災者は重りの最下部にある取っ手を右手で、重りの側面を左手で持って重りを支えていた。他の係員がクレーンで重りを吊り上げ地切りしたところ、台車が動き、右手の薬指と小指が台車の吊り金具と重りの間に挟まれた。	52	100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)